

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 6 - 23)

件名	廃棄物移動時における (ベータ)線ダストモニタの高警報発報							
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 低レベル廃棄物処理建屋: (ベータ)線ダストモニタ</p> <p>(2) 発生の状況 (3) 概要 廃棄物移動中 廃棄物移動コンベアで廃棄物を移動中、廃棄物の袋が破れ、室内に放射性物質が漏れいし、近傍 (ベータ)線のダストモニタの指示値が上昇し高警報が発報</p> <p>* 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な汚染の発生が予想される。</p>							
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 低レベル廃棄物処理建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 作業区域の汚染であるため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員への安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 汚染の除去が終わるまで、当該作業が影響を受けるが、他工程には影響は生じない。</p>							
対応の概要	<p>(1) 直ちに廃棄物の袋をオーバーパック(梱包)する。</p> <p>(2) 汚染の除去を行うとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。</p> <p>(3) 定められた手順により区域の汚染除去を行う。</p> <p>(4) 除染後、汚染の除去を確認する。</p>							
公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)							
対応区分	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;"> 国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 放射性物質による汚染、被ばく等 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化 </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 放射性物質による汚染、被ばく等 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 放射性物質による汚染、被ばく等 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化							
(b) 運転系統を切り替えて復旧								
(c) 当該機器を停止して復旧								
(d) 当該設備を停止して復旧								
(e) 影響範囲の設備を停止								

